



学校だより



令和8年6月29日
7月号
調布市立第一小学校
校長 秋國 光宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL.042(481)7636

夏休みを前にして

副校長 平 裕子

先日の全校朝会で子どもたちに、6月30日は「夏越の祓（なごしのはらえ）」の話をしました。令和8年も半年が過ぎました。「夏越の祓」は、半年間、無事に過ごすことができたことへ感謝をするとともに、心身を清め、残り半年の健康と平穏を願う日本の伝統行事です。

子どもたちにも、大人にも、毎日楽しいことやうれしいことばかりではありません。思うようにいかなかったことで、落ち込んだ日もあったのではないのでしょうか。とはいえ、毎日「無事」、つまり「大きな災いがなかったこと」に感謝をし、一度気持ちを整えて、新しい半年を歩み始める。「夏越の祓」はそんな一年の折り返し地点です。

まもなく1学期が終わります。通知表を手にとると、どうしても「できたこと」「できなかったこと」に目が向きがちです。しかし、通知表は子どもたちの成長の一部分を示したものであり、その子のすべてを表すものではありません。例えば、友達や下級生に優しく声をかけられるようになったこと、苦手なことから逃げずに取り組めるようになったこと。そうした成長は通知表だけでは十分にお伝えできません。ぜひご家庭では、結果に一喜一憂することなく「一学期にどんなことに挑戦したの?」「どんなことをがんばったの?」とお子さん自身の成長と一緒に振り返っていただければと思います。

夏休みは、学校にいてはできない学びに出会う季節です。本との出会い、人との出会い、自然との出会いなど、一つ一つの経験が子どもたちの成長につながります。一緒に美しいものを見て「きれいだね」と伝え合ったり、一緒においしいものを食べて「おいしいね」と気持ちを共有したりすることで、少しずつ少しずつ薄皮を重ねていくようにお子さんの自己肯定感は積み重なっていきます。ぜひ、お子さんとたくさん話をして、たくさん笑って、一緒に過せる時間を味わって、よい夏休みをお過ごしください。

9月に、一回り大きくなった子どもたちに会えることを楽しみにしています。